

使用上のご注意

動作時の警報【漏電遮断器】

(内線規程1375-5)

遮断器の動作により電気の供給が長時間停止すると支障が出る場合(養殖場等)は用途に合わせて警報スイッチ仕様、補助スイッチ仕様をご検討ください。

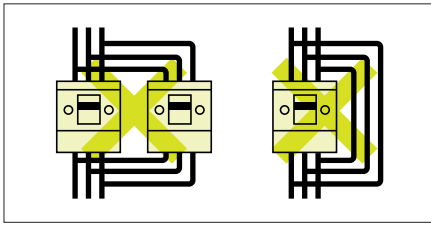
並列接続、バイパス接続

【漏電遮断器】

並列接続、バイパス接続は、いずれの場合も不平衡電流が流れて漏電遮断器が誤動作します。また、漏電遮断器が動作後も電圧が印加されるため危険です。

電源側、負荷側の接続の方向を規制している器種ではトリップコイルなど内部が焼損します。

図のような接続はしないでください。



単相3線式回路への接続

【配線用遮断器】漏電遮断器】

単相3線式回路へは、中性線欠相保護付配線用遮断器・漏電遮断器をご使用ください。

関連内線規程について(抜粋)

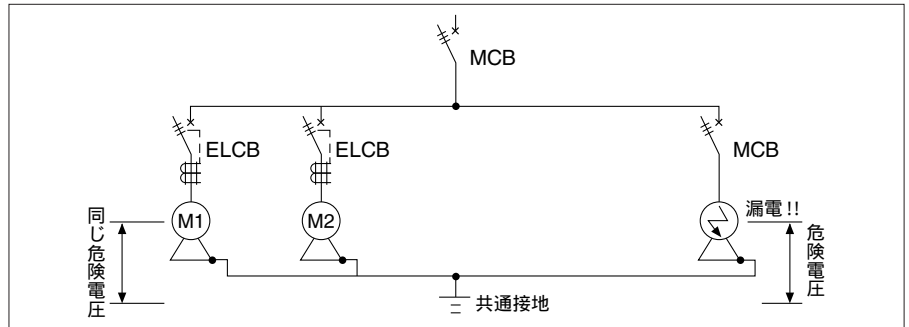
- 1360-3 配線用遮断器の規格及び選定
- 3.〔中性線欠相保護〕
- 単相3線式電路に施設する配線用遮断器は、中性線欠相保護機能付きのものとすること。
- 1375-2 漏電遮断器などの選定
- 5. 単相3線式電路に施設する漏電遮断器は、中性線欠相保護機能付きのものとすること。

JIS C 8201-2-2 Ann XB	定格動作過電圧	135V
JIS C 8221 Ann XA	定格不動作過電圧	120V以上
JIS C 8222 Ann XB	定格過電圧動作時間	1秒以内

共通接地【漏電遮断器】

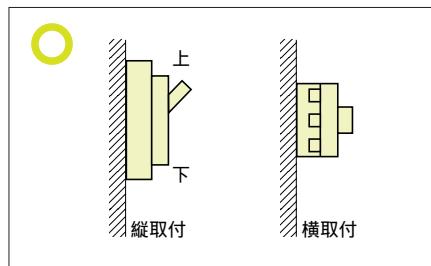
複数の電動機回路等において、漏電遮断器を取付けた電動機と、取付けない電動機のアース線を共用にいたしますと、万一漏電遮断器を取付けていない方の電動機で漏電があった場合、その対地電圧が共通接地線を通じて、漏電遮断器のある方の電動機に

も危険電圧が生じることとなります。この時は、その漏電遮断器は動作しませんので、大変危険です。このように共通接地をとった機器については、全回路へ漏電遮断器を取付けてください。

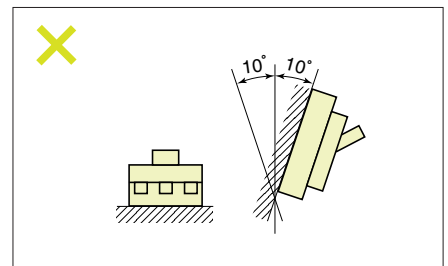


取付方向

良い例



悪い例(完全電磁形)



ご注意

遮断器は鉛直面取付が基本です。

熱動形、熱動電磁形のは、その他の取付面でも問題はありません。

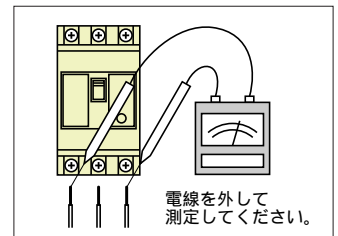
完全電磁形のものにおいては、鉛直面取付(10°以内)以外の取付では特性が変化しますので、ご注意ください。

絶縁測定時のご注意事項

【単3中性線欠相保護付配線用遮断器・漏電遮断器】

下表の 印の箇所の絶縁測定は、測定しても故障しませんが内部回路により、絶縁抵抗計の指示値はほとんど零です。

線間の絶縁測定をされる場合は、端子から電線を外して電線の箇所測定してください。



	絶縁抵抗測定(500V以下)			
	漏電遮断器		単3中性線欠相保護付配線用遮断器・漏電遮断器	
ハンドルの状態	ON	OFF	ON	OFF
充電部 大地間	○	○	○	○
左 中、中 右極間	○	○	△	△
左 右極間	電源側	△	○	○
	負荷側	△	△	△
電源 負荷端子間	-	○	-	○